

設計課題 ビジネスホテルとフィットネスクラブからなる複合施設

設計条件

この課題は、ある地方都市の中心市街地において、ビジネスの拠点となる駅前に建つ、「ビジネスホテル」と「フィットネスクラブ」からなる複合施設を計画するものである。また、この建築物は、2階において駅と連絡するペDESTリアンデッキからもアクセスできるように計画するとともに、高齢者、障害者等の利用に配慮した計画とする。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。

ホテル部門、フィットネスクラブ部門及び共用部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画。

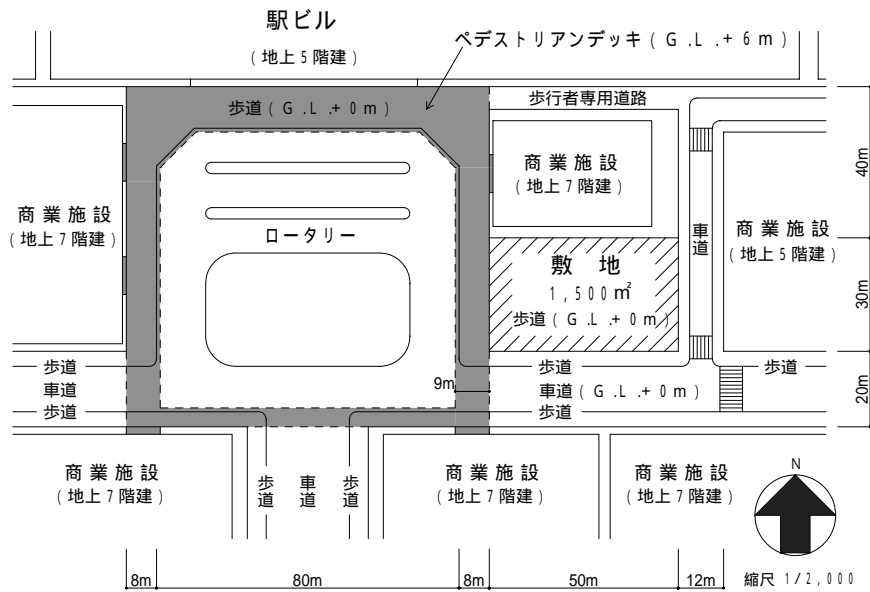
1階及び2階のエントランスホールは、2階でペDESTリアンデッキと、1階で歩道とそれぞれ接続し、エントランスホールに設けるエスカレーター及びエレベーターを利用して、常時、自由に通り抜けができる計画。

建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画。

建築物の環境負荷低減に配慮した計画。

1.敷地及び周辺条件

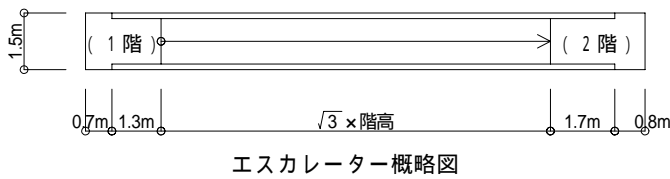
- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおり。
- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとし、ペDESTリアンデッキは敷地から6m高い位置にある。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできる。
- (3) 敷地は、商業地域及び準防火地域に指定。また、建ぺい率の限度は90%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は500%。



- (注1) 黒い部分はペDESTリアンデッキを示す。
- (注2) ペDESTリアンデッキの階段及びエレベーターについては省略している。

2.建築物

- (1) ラーメン構造による鉄筋コンクリート造とし、一部、他の構造種別と併用してもよい。ただし、その場合は、「-2.計画の要点等」の「構造計画について、特に配慮したこと」にその理由を記入。
- (2) 地下1階、地上7階建ての1棟の建築物とし、地下1階を除く床面積の合計は、6000㎡以下。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しない。
- (3) 構造計画については、1・2階部分と3～7階部分が、構造的に整合性のある計画とする。
- (4) 設備については、次のとおり。
エスカレーターについては、エントランスホールに上昇用、下降用を各1基（1基当たり幅1.5m、勾配30度）設ける。



エレベーターについては、次のとおり設ける。

- イ. エントランスホールに1基（1～2階）
 - ロ. ホテル部門の宿泊者用に2基（2～7階）
 - ハ. ホテル部門のサービス用に1基（1～7階）
 - ニ. フィットネスクラブ部門に1基（1～2階）
- その他の施設（空気調和、衛生設備、電気設備）については、適切に計画。

3.その他の施設等

- (1) 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として2台分、サービス用として1台分。
また、利用者用及び従業員用の駐車場については、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (2) 駐輪場は、近隣の公共駐輪場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (3) (1)の「駐車場」は、床面積に算入しない。

4.所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	床面積	特記事項
ホテル部門	フロント・事務室	約 50㎡	2階	フロントにカウンター。
	ロビー	約 100㎡	2階	2階のエントランスホールからアクセス。 ソファ等。
	シングル (計90室)	計約 1,440㎡	3～7階	各階に18室(約16㎡/1室)。
	ツイン (計15室)	計約 360㎡	3～7階	各階に3室(約24㎡/1室)。
	車いす使用者用 (計5室)	計約 120㎡	3～7階	各階に1室(約24㎡/1室)。
ホテル部門	リネン室	適宜	3～7階	
	従業員控室	適宜	1階又は2階	ホテル部門の従業員用として、男性用、女性用を各1室。
フィットネスクラブ部門	・裸足又は上履きで利用する計画。			
	受付ホール	約 70㎡	1階	1階のエントランスホールからアクセス。 受付カウンター、下足棚、ソファ等。
	スタッフルーム	約 40㎡	1階	受付ホールに隣接。
	ロッカールーム	約 200㎡	1階又は2階	屋内プールへ直接行き来できる。 男性用、女性用を各1室(約100㎡/1室)。 ロッカー、シャワーブース、洗面台、便所。
	トレーニングルーム	約 200㎡	1階又は2階	受付カウンター。 各種運動器具を利用して、トレーニング。
フィットネスクラブ部門	エアロビクススタジオ	約 100㎡	1階又は2階	壁の一面に鏡。
	屋内プール	約 350㎡	1階又は2階	プールは、長さ20m、幅8m、最深1.2m。 受付カウンター及び採暖室。
共用部門	エントランスホール	適宜	1～2階	各階に風除室。 エスカレーター及びエレベーター。
	コーヒESHOP	約 100㎡	1階又は2階	エントランスホールに隣接。 カウンター、テーブル、いす等。
	荷解き室	適宜	1階	サービス用駐車場からの搬入に配慮。 ゴミ庫。
	従業員出入口	適宜	1階	
	守衛室	適宜	1階	従業員出入口に隣接。
共用部門	電気・機械室	約 300㎡	地下1階	ドライエリアを付設。 屋内プールの機械室を兼ねる。

・便所及び倉庫については、適切に計画。

(注) 上記の床面積の合計(地下1階及び適宜を除く。)は、約3,130㎡。

要求図面等

1.要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入。 室名等を記入。 建築物の出入口及び断面図の切断位置を図示。 設備用シャフトの位置を図示し、P Sと記入。 1階平面図兼配置図には、次のものを図示。 イ. 地下1階部分(電気・機械室の位置を図示し、床面積を記入。) ロ. ドライエリアの位置 ハ. 駐車場(台数及び出入口を明示。) ニ. 通路・植栽等 フロント・事務室、ロビー、受付ホール、スタッフルーム、ロッカールーム、トレーニングルーム、エアロビクススタジオ、屋内プール、コーヒESHOPの床面積を記入。 客室については、次のものを図示。 イ. 代表的なシングル1室の室内プラン及びその床面積 ロ. 代表的なツイン1室の室内プラン及びその床面積 ハ. 各客室の出入口、設備用シャフト ニ. シングルの表示(S ₁ 、S ₂ ～S ₁₈) 三. ツインの表示(T ₁ 、T ₂ 、T ₃) 基準階平面図は、3階。 直下階の屋根、ひさし等となる部分を図示。
(2) 2階平面図 1/200	
(3) 基準階平面図(3～7階) 1/200	
(4) 断面図 1/200	切断位置は、屋内プールを含み、建築物の全体の立体構成(地上1階～7階)がわかる断面。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わない。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入。 梁及びスラブの断面を図示。なお、地下1階及び基礎については図示しなくてよい。

2.計画の要点等

次の～について、計画の要点等を記述。なお、要求図面に該当箇所があれば、引出し線等により補足して明示。
建築計画(ゾーニング、管理、サービス動線、セキュリティ等)について、特に配慮したこと
構造計画(構造種別、架構形式、構造上の特徴等)について、特に配慮したこと
建築物の環境負荷低減(熱負荷の抑制、省エネルギー、省資源等)について、特に配慮したこと
設備計画について、採用した空調方式とその理由

3.面積表

地上1～7階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入。

試験場	受験番号	氏名